

1.A. 阪急嵐山駅前 河川敷広場



2.B. 嵐山公園中之島



京都府立嵐山公園は明治時代末期に桂川左岸に整備された嵐山地区、桂川中州に整備された中之島地区、昭和に整備された中之島地区向かいに整備された臨川寺地区の3地区から成り立つ。
春は桜、秋は紅葉の名所として、古くは平安時代から絶好の景勝地として親しまれてきた。間近に望む緑の山肌と川の流れ、渡月橋の優美な姿が調和した景観は、いまも全国の人々に愛されている。

3.C. 渡月橋



その歴史は古く、平安時代の始め承和3年(836)空海の弟子 道昌が大堰川(おおいがわ※桂川の上流)を改修したおりに架橋したものとされている。渡月橋の呼称は、嵐山天皇が曇りのない夜空に月がさながら橋を渡るようなさまをみて「くまなき月の渡るに似る」と感想を漏らされたことから「渡月橋」と呼ばれるようになったとされている。現在のものは昭和9年(1934)の改築により完成。また渡月橋は桂川の流れを利用した小水力発電による自然エネルギーを生み出し、自らを灯し続ける夜景が美しい橋として知られる。

4.D. 保津川下り着船場



「川下り」というのは、保津川の水流を利用して下流にある京都・大阪に物資を送る事にはじまった言葉である。かつての大坂城築城、伏見城造営では保津川の水運を利用して木材が輸送された。その後、水運利用は次第に姿を消していった。明治時代から遊船として観光客を乗せた川下りが始まり、観光の舟下りとして知られ、この場所は保津川下りの最終地点にあたる。

5.E. 亀山公園



公園の入り口は保津川下りの着船場の前にあり石段の階段となっており、公園内には周恩来記念詩碑や周辺の山々が一望できる展望台など、亀山公園の由来は小倉山から伸びる屋根で山の形が亀に似ていることから、この名前がつけられたと言われる。また公園内には嵐山天皇ほか3天皇の火葬塚がありそこから亀山公園と呼ばれた説もある。

6.F. 竹林の道



天龍寺北側から大河内山荘付近までの約100mにわたりますく伸びた竹林が続く風情のある散歩道。清涼感のある竹林の道は癒しを求める多くの観光客を集める。京都嵐山の代表的な観光名所として知られる。

7.G. 野宮神社



平安遷都後、嵯峨野に野宮という社ができ、伊勢神宮にお仕える天皇の代理で齊王に選ばれた皇女が1年間ここに籠って精進潔斎をする習わしがあった。源氏物語、謡曲野宮でも有名な野宮神社は縁結び、学業のご利益で知られ、若い女性や学生の参拝者が多く訪れる。平安の風情を伝える黒木鳥居が目印。

8.H. 常寂光寺 (じょうじゃっこうじ)



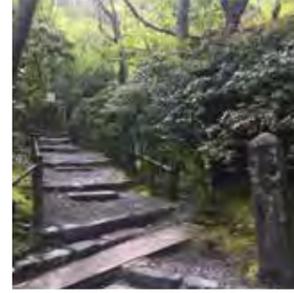
日蓮宗の寺院で慶長元年(1596)開創。小倉山の山中に建てられた名刹は重要文化財にも指定されている。高さ12mの多宝塔を備える。本堂は伏見城の建物の一部を当寺二世通明院日韶(にっしょう)が移転修造したものといわれる。紅葉の名所として知られるが、境内には桜やツツジ、椿などの木々も茂り、季節ごとに魅力的な景観が現れる。

9.I. 二尊院 (にそんいん)



嵯峨天皇の勅願により承和年間(834~847)に建立されたと伝わる。寺名のもととなる釈迦如来。阿彌陀如来の二尊を本尊とし、「足史の御影」など法然上人由来の寺宝を安置する。参道「紅葉の馬場」は秋になると多くの人を魅了する。

10.J. 祇王寺 (ぎおうじ)



「平家物語」にも登場し、平清盛の寵愛を受けた白拍子の祇王が清盛の心変わりにより都を追われるように去り、母と妹とともに出家、入寺した悲恋の尼寺として知られる。現在の本堂は、明治28年(1895)に再建されたもので、境内には、本尊大日如来像をはじめ、平清盛と祇王ら四人の尼僧像を安置している。

11. 化野 (あだしの) 念仏寺



寺伝によれば、化野の地にお寺が建立されたのは、約千二百年前、弘法大師が、五智山如来寺を開創され、その後、法然上人の常念仏道場となり、現在、華西山東漸院念仏寺と称し浄土宗に属する。境内の西院(さい)の河原に現出した多数の石塔石仏を安置している。毎年8月23、24日の両日には、これらの石塔石仏に灯を供える千灯供養が行われ、多くの参詣者で賑わう。

12. 平野屋



平野屋は火の要慎の神、愛宕(あたご)神社詣での愛宕街道の小道に一の鳥居のふもとに400年の鮎問屋を営むかたわら茶店として参拝者、旅人に慕われてきた老舗店。

13. 愛宕念仏寺 (おたぎねんぶつじ)



天台宗の寺院。もとは東山の地に奈良時代に建てられた古刹。平安初期に鴨川の洪水で堂宇が流失。天台の僧「千観内供」が再興し、等覚山愛宕院と号し、比叡山の末寺となる。本堂は鎌倉中期の建立で重要文化財。大正時代に奥嵯峨の地に移築された。地蔵堂には、豊饒あたらかな火之要慎のお礼で知られるあたご本地仏「火除地蔵菩薩」が祭られている。境内には参拝者の手によって彫られた、1,200鉢の石造の羅漢さんが表情豊かに並び、訪れる人の心を和ませてくれる。

14. 京都市嵯峨鳥居本町並み保存館



奥嵯峨鳥居本は愛宕神社の門前町としての性格と農村としての性格を合わせ持ち発展してきた町であり、わらび屋根の農家風民家や町家風民家が周囲の美しい自然景観を背景に並ぶ情緒ある町並みが残る。昭和54年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された。当館はこの鳥居本の雰囲気をよく残す伝統的な町家風民家を復元整備し、町並み保存館として公開された。

15.K. 清涼寺



「嵯峨の釈迦堂」で知られる浄土宗の古刹。寛和3年(987)然(ちようねん)が中国から帰国し、大清凉寺の建立を計画。没後、弟子の盛算が棲霞寺に、師が宋より請来の釈迦如来立像を安置した。体内に内臓を形どった納入物があり、生身如来といわれている。毎年、春と秋には霊宝館の特別公開が行われ、数多くの国宝や重要文化財を見学できる。

16.L. 大覚寺



真言宗大覚寺派の本山。貞観18年(876)、嵯峨天皇の離宮嵯峨院を寺院に改め、歴代の天皇や皇族が住持された門跡寺院であり、嵯峨御所として知られる。境内に書院造の正殿(重文)には、後宇多天皇が院政を執った部屋があり、狩野山楽筆の襖絵や墨絵などの障壁画が多数所蔵する。

17.M. 大沢池



大覚寺境内の東側に広がる大沢池(名勝地)は、平安時代、唐(現在の中国)の洞庭湖を模して造られた日本最古の林泉式庭園である。池畔には桜や楓が約700本、池内には約3000株もの蓮が自生しており、平安時代から変わらない風光明媚な風景を今に楽しむことができる。観月の名所としても知られる。

18. 児 (ちご) 神社



児神社は、平安時代に宇多(うた)天皇の孫にあたる真言宗の寛朝僧正が他界した際、悲しみに打ちひしがれて、池に身を沈めた僧正の稚児を弔うために建立された神社。

19. 広沢池



大覚寺・大沢池の東にある。東西・南北各300メートルの灌漑用の溜池。永祿1年(1589)寛朝僧正が朝原山に寺を建立した時に開削した池で、別名遍照寺池とも。しかし秦氏が造成の説も。平安期は観月の名所として貴族が訪れ多くの歌を詠んだ。

20.N. 京都嵐山オルゴール博物館



ヨーロッパの貴重な文化遺産ともいべきアンティークオルゴール、オートマタ(西洋のからくり人形)のコレクションを一堂に集めた博物館。博物館スタッフによる実演説明あり。カフェ、ショップも併設されている。
※ゼッケンを提示すると割引のサービスあり

21.O. 天龍寺 (世界文化遺産)



後嵯峨天皇の嵐山離宮があった場所に足利尊氏が後醍醐天皇の霊を慰めるため、夢窓疎石を開山として暦応2年(1339)に創建された禅寺。創建以来8回にわたる大火や兵火、元治元年(1864)には蛤御門の変に際して長州軍の陣営となり兵火のために再び伽藍は焼失。現在の諸堂は明治になって再建され、明治9年(1876)には臨済宗天龍寺派の大本山となった。

22.P. 宝蔵院 (ほうぞんいん)



臨済宗・天龍寺塔頭。寛正2年(1461)聖仲永光禅師を開山に迎えて創建。もとは上京区禅昌院町にあり、細川頼之の昭堂を寺としたという。応仁の乱の兵火に会うなどしたが、豊臣秀吉の恩顧によって再建。昭和47年より天龍寺塔頭弘源寺の境内にあったが、平成14年1月に現在地に移り再興した。



小学生以下のお子様対象のクイズです!

こどもクイズ

問題!

クイズに答えて記念品をゲット!

月橋渡 (つきはし) わたるくんは何のキャラクターでしょうか?

- ① 嵐山商店街のキャラクター
- ② 嵐山 竹林の妖精
- ③ 嵐山亀山公園のキャラクター

答え

